

(一社)日本繊維機械学会 繊維リサイクル技術研究会
「廃棄学校制服の有効活用による衣類ごみ減量化の提案」
 いらなくなった学校制服をアップサイクルしませんか！

【アップサイクルの仕組みを構築しました】

1. リユースできずに廃棄される予定の学生服を回収。
2. リサイクル品の原料となる粉砕、反毛綿を作製 ⇒ 不織布、板紙、樹脂シート等に加工。
3. 中学校、高等学校で環境に関する特別授業を行い、生徒たちからリサイクル品のアイデアを募集。
4. リサイクル品の制作に適した福祉作業所で製品化。生徒たちのアイデアを実現。
5. 最終製品(アップサイクル品)を、制服を提供した生徒、学校で思い出の品として活用。

【環境に関する特別授業風景】



【障害者就労支援施設にて作製】

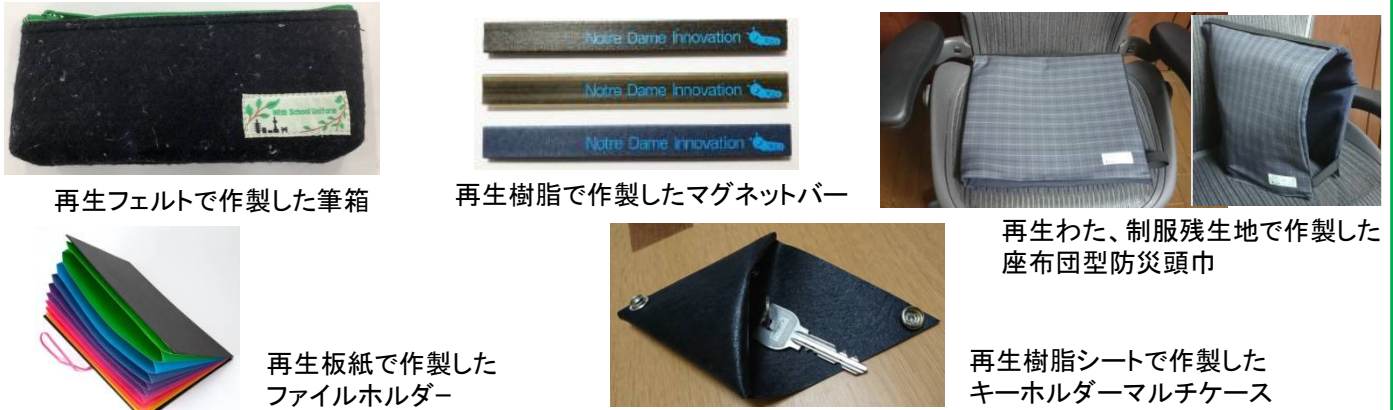
ワークハウス せいらん
 KYOTO
 就労継続支援事業所

みんなと喜びを共にしたい

皆さんこんにちは。「ワークハウスせいらん」で施設長をさせていただきます。加藤です。
 障害者を取り巻く環境は年々変わってきています。少しずつですが楽しくなっていくような気がします。しかし、どんなに変わろうが、障害のある人たちが普通に、自分らしく生きていく権利は守っていかねばなりません。「ワークハウスせいらん」も平成30年には設立15周年を迎えます。その時こそそれからもみなさんと共に歩んでいける。そんな場所であることを思いながらこれからも進んでいきます。

就労継続支援事業所
 ワークハウスせいらん
 〒615-8106
 京都市西京区川島渡橋町4-1 1階地3
 TEL 075-393-4141
 FAX 075-393-8686

【生徒たちのアイデアから生まれた種々のアップサイクル品】



【問い合わせ先】

繊維リサイクル技術研究会
 委員長: 木村照夫

tkimura426@gmail.com

京都市ごみ減量推進会議
 助成金事業